

神代先月末は貴名に留まるとん
 采と書ねとせとせしち子根根は
 其ねり若ぬ心算子付印り若心算と
 とうもさひみほせとせしちのね貴無探又か
 と白こんとれむとを存おせしちの讀Pとせ
 りあふの候情んを二千取むかりとせは
 之と取當とせと月ふし内より取探五

原稿用紙

田とけお借はるう如行のものさ
 少取先と書しは故是と採子の中條
 取しと書し何ふしは河は待とP
 まに書し何ふしは河は待とP
 まに書し何ふしは河は待とP

乙お作

二右殿記入海お情之中とせは縁
 い初月甲乙と書しは河は待とP

海お情海縁之記し方とて約取
 海一か右いん名みまこりり

